

観光庁予算主要事項について

令和5年度当初予算：310億円（うち観光財源200億円）
令和4年度経済対策関係予算：2,000億円

国内交流の拡大等（216億円）

○新たな交流市場の開拓

「第2のふるさと」、ワーケーション、ユニバーサルツーリズムの促進



○ポストコロナを見据えた旅行環境整備



移動支援モビリティ



エレベーター



観光案内アプリ



観光案内所整備

○全国旅行支援の着実な実施

年明け（1月10日）以降の観光需要喚起策の実施

インバウンド回復に向けた戦略的取組（512億円）

○観光再始動事業

インバウンド回復の起爆剤となる特別な体験コンテンツ等の創出



文化財



国立公園

○全国津々浦々の観光資源の磨き上げ・環境整備



歴史的資源



自然



スノーリゾート



ガストロノミー

○戦略的な訪日プロモーション



地方誘客の促進



高付加価値旅行者の取り込み

○地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり

※この他、CIQ体制整備等を実施

高付加価値で持続可能な観光地域づくり（1,582億円）

○観光地・観光産業の再生・高付加価値化

宿泊施設等の改修、廃屋撤去、観光地の面的DX化等の取組を複数年度にわたり計画的・継続的に支援



宿泊施設の大規模改修



廃屋撤去

○観光分野におけるDXの推進



地域一体となったキャッシュレス化



宿間・異業種とのデータ共有・利活用

○人材の育成・確保

教育プログラムの創出等



○持続可能な観光

自然、文化の保全と観光振興を両立させる先行モデルの構築



マナー啓発設備



入域料等徴収システム整備



公共交通利用促進のための駐車場整備

観光庁 令和4年度補正予算関係

- 世界の成長を取り込み、高い経済波及効果を地域にもたらす**観光は「成長戦略の柱」、「地域活性化の切り札」**。
- 観光立国の復活に向け、足元の円安メリットを活かし、**インバウンドの本格的な回復に向けた集中的取り組み**を実施しつつ、**観光地・観光産業について持続可能な形で「稼ぐ力」を高める**取組を強力に推進し、インバウンド消費5兆円超の速やかな達成を目指す。

1. インバウンドの本格的な回復に向けた集中的な取組等【約257億円】

● 観光再始動事業

- ・文化、自然、食、スポーツ等の分野で特別な体験や期間限定の取組を創出するとともに、**強力なプロモーション**を実施



©SUMMER SONIC 2022

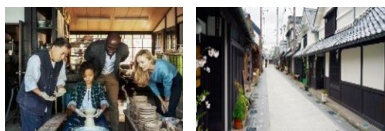
● 地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり

- ・高付加価値旅行者層の取り込みに向け、**全国10カ所程度のモデル観光地の計画策定・コンテンツ造成等を集中的に支援**

● インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援

- ・特に地方への誘客、地方での消費拡大の促進のため、**地域に根差した観光資源の一つ一つを、インバウンド向けに磨き上げ**

※上記に加え、MICE誘致支援、スノーリゾート形成や歴史的資源を活用した観光まちづくり等を実施



2. 地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化【約1,500億円】

● 観光地再生・高付加価値化事業の拡充

- ・地域一体となった面的な宿泊施設の改修、廃屋撤去等による観光地の再生・高付加価値化を促進するため、以下の点を拡充
 - 複数年度（2～3年）にわたる支援の実施
 - 観光施設改修の補助上限引き上げ
 - 面的DX化（地域一体でのキャッシュレス化等）を補助メニューに追加



3. 訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業【約243億円】

● 観光施設や交通機関の受入環境整備

- ・訪日外国人客を受け入れる**医療機関におけるキャッシュレス決済環境**や多言語化対応の整備支援
- ・観光施設や交通機関における**感染症対策**等支援
- ・航空等公共交通における**ストレスフリー**で快適な旅行環境整備



● 宿泊施設・観光施設における省エネ性能の向上

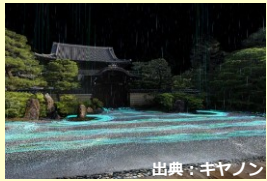
- ・省エネ性能の高い設備等の導入を支援



- 2025年に向けてインバウンドの本格的な回復を図るため、全国津々浦々で観光回復の起爆剤となる取組を集中的に実施
- 地域の関係者の発意による特別な体験や期間限定の取組等を全世界に発信しつつ、モデルツアーの造成も通じ、誘客の促進につなげる

文化、自然、食、スポーツ*等の多岐にわたる分野で、特別な体験や期間限定の取組の創出、イベントをフックとした誘客の促進、体験コンテンツの高付加価値化等を支援 ※ 世界遺産・日本遺産・伝統芸能・アート・ポップカルチャー・国立公園・自然景観・スノーリゾート等の多様な観光資源を想定 ※ 個々の取組は、イメージ

特別な体験の提供



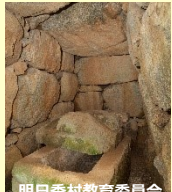
建仁寺での最新技術を活用した映像体験 (京都府) 2022年



姫路城世界遺産登録30周年 天守等の限定公開 (兵庫県) 2023年



明王院五重塔の内部公開 (広島県) 2024年



明日香村教育委員会 都塚古墳の内部公開 (奈良県) 2022年



弘法大師生誕1250年 座像の限定公開 (和歌山県) 2023年



正倉院関連イベント (奈良県) 2025年

大自然の魅力を活かした新たな体験の提供



阿寒摩周国立公園での夜間イベント (北海道) 2022年



高級ホテルの開業予定 二セコ町 (北海道) 2023/2024年



スノーリゾートにおける Gondola 増設 (長野県) 2024年



黒部宇奈月キャニオンルート 開業 (富山県) 2024年

イベントをフックとした誘客の促進



ジブリパーク開業 (愛知県) 2022年11月



「和食」世界遺産登録10周年 2023年



世界遺産登録を目指す「伝統的酒造り」 2024年



期間限定「あかぼちや」2006年 鹿島・宮浦海岸 写真/青地 大福 世界陸上 瀬戸内国際芸術祭 2025年

<支援対象>

新規性が高く・特別な体験コンテンツ・イベント等で規模3,000名以上又は高付加価値化がなされたもの

<スキーム>

- (1) 国・地方公共団体等所管事業：上限8000万までを支援
- (2) 民間企業等支援事業
 - ① 規模3,000名以上の体験コンテンツ・イベント等支援事業
1,500万定額に加え、1,500万から4,000万まで補助率1/2を支援
 - ② 高付加価値化等支援事業
1,000万定額に加え、1,000万から3,000万まで補助率1/2を支援

※最低事業費は①1,800万円(最低自己負担額150万)、②1200万円(最低自己負担額100万)

海外への発信



特設ウェブサイト (イメージ)

プロモーションは JNTOと連携



観光庁

令和4年度2次補正予算

地域のコンテンツの連携促進(ロングストーリー造成)事業

事業概要WEB説明会

事業概要

- ◆インバウンド需要が回復に向かう中で、その需要を確実に収益につなげるためには、インバウンド客により長く日本に滞在してもらい、より多くの消化をしてもらうことが必要です。
- ◆そのためには、地域にあるコンテンツをバラバラに体験してもらうのではなく、旅行者目線で旅全体を通じて、一貫したストーリーの下で有機的につながったコンテンツを体験してもらうことが効果的です。
- ◆本事業では、このようなストーリーの造成等を行う者に対して、支援を行う予定です。

プログラム

- ◆本事業の目的等を職員が説明します！
 - ◆チャット機能を利用して、みなさまからの質問にもお答えいたします！
- ※ 全ての質問に対応できない可能性もございますので、あらかじめご了承ください。

日時

1月20日(金) 11:00 ~ 12:00

事業の目的は？ 具体的な内容は？ スケジュールは？

興味・関心がある、話だけでも聞いてみたい、、、

是非、ご参加ください！！

申込方法

1月18日(水) 予約締切

別添Excel「参加申し込み」に必要情報をご記入いただき、以下メールアドレスに送付ください。

メールアドレス: hqt-kankou_boost@mlit.go.jp

※ 項目は、全て記載してください。

※ 同じ会社等から複数人が参加する場合は、別添Excel「参加申し込み」にまとめて送付をお願いします。

※ 当日の説明会では、「Microsoft Teams」を使用する予定です。

具体的な接続手順については、参加が決定した方に事前に御連絡いたします。

※ 接続に係る通信料等については、参加者に御負担いただくこととなります。あらかじめ御了承ください。

※ 当日の説明会に参加することができない方でも申込をすれば、開催日の3日後までアーカイブを視聴することが可能です。また、資料については、本説明会の後に観光庁HPに掲載をする予定です。

問い合わせ先はこちら

観光庁観光地域振興課 TEL : 03 - 5253 - 8328

担当者 : 岡、後藤、難波、井村



観光庁
Japan Tourism Agency

インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業

○ 本格的な再開が見込まれるインバウンドの地方誘客や観光消費の拡大を促進するため、観光事業者が連携してインバウンド向けに地域に根差した観光資源を磨き上げる取組を支援する。

インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた磨き上げ（イメージ）



✓ 「禅」をテーマとした体験型コンテンツ
→訪日外国人が「禅」の精神を理解できるような思想の深掘り・ストーリー構築を実施



✓ 和紙制作の体験コンテンツ
→和紙の歴史や工程の理解を促すコンテンツを多言語で整備するとともに、職人と訪日外国人の交流の機会を創出

補助対象者	地方公共団体、DMO、民間事業者（民間事業者においては、地方公共団体との連携が必須）
補助対象経費	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行商品等の企画・開発費 ・モデルツアー実施費 ・国、地域毎のインバウンド促進に専門性を有する有識者等からの意見聴取に係る経費 等

NEWS RELEASE

令和4年10月21日

報道関係各位

観光庁「令和4年度 地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」
海の京都農泊ヴィーガン聖地化計画「台湾市場・ヴィーガン料理セミナー」開催



一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社（海の京都 DMO）

海の京都 DMO では、観光庁の公募事業である「令和4年度 地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」の採択を受け、綾部・福知山地域の農泊推進に取り組めます。

関西有数の集積を誇る綾部・福知山地域の農泊において、国内外からの需要が高まるヴィーガン料理を提供することで、台湾をはじめとするインバウンドの獲得を目指します。

その一環として、台湾訪日市場やヴィーガン料理に知見の深い講師2名を招聘し、農泊事業者を対象とするセミナーを開催します。

※ヴィーガンとは、卵や乳製品を含む動物由来の食材を一切口にしない完全菜食主義者のこと

- 1 日 時 令和4年10月27日（木）14時～16時（開場・受付13時30分～）
- 2 会 場 あやべ・日東精工アリーナ会議室1（綾部市西町三丁目南大坪 39番地の10）
- 3 講 師 テーマ① 「台湾訪日市場と効果的なマーケティング」
ジーリーメディアグループ代表取締役 吉田 皓一
テーマ② 「台湾人に喜ばれる飲食サービス」
ジーリーメディアグループ「ラーチャーゴー！日本」編集長 蔡 宇淮
- 4 対 象 綾部・福知山地域の農泊事業者
その他（観光協会・市役所職員等）
※本事業への参画農泊事業者のみ対象とし、セミナー欠席者には後日動画提供
します。
- 5 主 催 一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社（海の京都 DMO）
- 6 問い合わせ先
〒629-2501 京都府京丹後市大宮町口大野 226 京丹後市役所大宮庁舎内
一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社（海の京都DMO） 担当：石田
電話：0772-68-5055 メール：info@uminokyoto.jp